



ピエール・ノット Pierre Notte

1969年アミアン生まれ。作家、作曲家、演出家、俳優。90年代より執筆活動を始め、これまでに10本を超える戯曲が出版され、ほかにラジオ・ドラマ、小説、詩集がある。フランス国内ではパトリス・ケルブラ、ジャン＝クロード・コティヤールといった人気演出家が手がけている。自作のキャバレー芝居(シャンソン・スペクタクル)で作詞・作曲・演出をこなし、自ら舞台に立つパフォーマーでもあるが、『背中にナイフ』の成功で演出家としても注目を集め、さらに『そしてその子は狼に』(2010)では俳優として認知された。また早くからヴィリイ・シャンティオン高校で演劇選択授業の講師を務める(1997-2010)など、アーティストとして多才な活躍をするピエール・ノットであるが、一方では「ヌーヴェル・オブセルヴァトゥール」誌、「エヴェヌマン・デュ・ジュディ」紙などで劇評欄を担当した後、「テアトル」誌編集長(2004-05)を務めたジャーナリスト、さらにはコメディ・フランセーズの事務局長(2006-2009)としての経歴も持つ。レ・デシヤルジュール劇場での提携劇作家を経て、2009/2010シーズンからはロン・ボワン劇場のアソシエイト・アーティスト(劇作家)兼アドヴァイザーを務めている。ノット作品の人気は国外でも高く、多くの作品が複数の言語に翻訳され、ドイツ、イタリア、オーストラリア、イギリス、アメリカ、リビア、ロシアで上演されている。2011年4月にはボローニャ(イタリア)でピエール・ノット作品をめぐる一週間の研究集会が開かれた。2011年7月アヴィニョン演劇祭オフで『Sortir de sa mère』を自身の演出で上演、好評を集めた。

【受賞歴】

ディアル&リュシアン・バリエール財団賞(2005)『私もカトリーヌ・ドヌーヴ』
SACD(劇作家・演劇音楽協会)新人賞(2005)『私もカトリーヌ・ドヌーヴ』
モリエール作品賞(私立劇場部門)(2006)『私もカトリーヌ・ドヌーヴ』
独仏作家の日観客賞(カールスルーエ/ドイツ)(2009)『北へ向かうふたりの女』
エミール・オージェ賞(アカデミー・フランセーズ戯曲賞)(2010)『背中にナイフ』『そしてその子は狼に』
シュヴァリエ(フランス芸術文化勲章)(2006)

International theatre exchange seminar 2015 ④ France

ワークショップ

8月19日(水) 13:00~17:00
20日(木) 13:00~17:00
21日(金) 13:00~17:00
22日(土) 13:00~17:00

参加費

ワークショップ(5日間) … 8000円(協会員4000円)

成果発表 & シンポジウム … 500円(協会員無料)

※ワークショップ見学500円(回)

※ワークショップは5日間すべての日程に参加できる方を優先します。(定員15名)

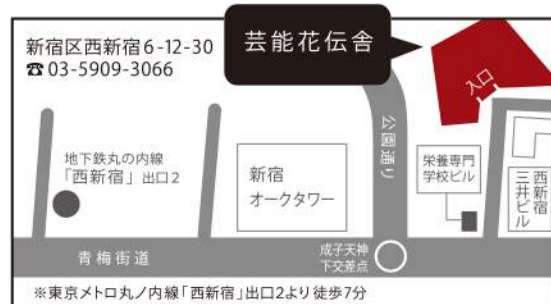
成果発表 & シンポジウム

8月23日(日) 13:00~17:00

★シンポジウム

「演劇と音楽と教育と～現代日仏演劇事情～」

パネラー：ピエール・ノット／篠崎光正／青井陽治



【お申込み方法】 ★お申込みはメールにて下記をお送り下さい。

①お名前 / ②連絡先(電話番号、メールアドレス) / ③年齢 / ④演出家 or 劇作家 or 俳優、簡単な略歴

一般社団法人日本演出者協会「フランス特集係」(担当：篠本) ワークショップ申込〆切：8月10日(月)

TEL: 03-5909-3074 FAX: 03-5909-3075 Email: jdanotte@yahoo.co.jp(フランス特集専用)

国際演劇交流セミナーとは

1990年代より、近隣の韓国、中国の演劇人との交流、さらには東アジアの国々と演劇交流をかさね、1999年からは文化庁による本格助成の下、通年で開催するようになり、世界各国の演劇人を講師として、ワークショップ、レクチャー、シンポジウム、リーディング等を開催しています。これまでに、アジア、ヨーロッパ各国より多くの演劇人を招聘してきました。今後も「世界の演劇人との交流」、ひいては「国際的視野を持つ日本の演出家、及び劇作家、俳優の育成」を目的に、様々なセミナーを実施致します。

2015年度セミナー予定(全7回)

- ①韓国特集(ユン・ジョンファン/ Yoon Jung Hwan) 7月 in 東京、in 松山
- ②ロシア特集(セルゲイ・ジェノヴァチ/ Zhenovach Sergey) 7月 in 名古屋
- ③パレスチナ特集(イハブ・ザハデハ/ Ihab Zahdeh) 8月 in 東京、in 郡山
- ④フランス特集(ピエール・ノット/ Pierre Notte) 8月 in 東京
- ⑤オーストラリア特集(オーブリー・メロー/ Aubrey Mellor) 9月 in 東京
- ⑥デンマーク特集(Christian Lollike, Mads Mazanti Jensen) 11月 in 東京
- ⑦メキシコ特集(ダヴィッド・オールギン/ David Olguin) 2016年1月 in 東京、in 大阪